

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年8月14日
【四半期会計期間】	第30期第2四半期（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
【会社名】	株式会社アルテ サロン ホールディングス
【英訳名】	Arte Salon Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 目黒 泉
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市中区翁町一丁目4番1号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画部長 坂口 満春
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市中区万代町一丁目2番12号
【電話番号】	045 - 663 - 6123
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画部長 坂口 満春
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第2四半期 連結累計期間	第30期 第2四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自平成28年 1月1日 至平成28年 6月30日	自平成29年 1月1日 至平成29年 6月30日	自平成28年 1月1日 至平成28年 12月31日
売上高 (千円)	3,551,285	3,635,945	7,324,537
経常利益 (千円)	142,755	157,720	427,449
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	30,799	48,636	211,874
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	30,611	48,677	211,739
純資産額 (千円)	2,213,514	2,379,227	2,380,601
総資産額 (千円)	7,003,536	7,499,242	7,393,976
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.13	9.72	42.19
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	31.6	31.7	32.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	300,951	50,891	1,071,552
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	344,189	398,312	704,920
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	57,506	84,030	147,466
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,453,837	1,395,399	1,658,748

回次	第29期 第2四半期 連結会計期間	第30期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成28年 4月1日 至平成28年 6月30日	自平成29年 4月1日 至平成29年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.93	8.73

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 従来、「営業外収益」にて計上していた「期限到来チケット精算収入」については、前連結会計年度より「売上高」に含めて計上する表示方法の変更を行っております。第29期第2四半期連結累計期間についても、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

(1) 暖簾分けによるチェーン展開に係る契約

当社グループのうち、株式会社アッシュ及び株式会社ニューヨーク・ニューヨークは、暖簾分け方式によるファミリーチェーンを展開し、当社、株式会社アッシュ、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク及びチェーン加盟者の繁栄及び顧客への良質なサービスの提供の実現を図ることを基本方針として、フランチャイズ契約を締結しております。

フランチャイズ契約（暖簾分け方式）

店長であった者をフランチャイジーとしてF C契約を締結し、独立させるものです。

その契約の概要は次のとおりであります。

1) 株式会社アッシュ及び加盟者との二者間フランチャイズ契約

（美容室アルテファミリーチェーン契約）

契約内容	経営指導、事務管理、広告宣伝、経理処理及び給与支払事務、衛生用レンタルタオルの使用、店舗設備及び美容器具の貸与
契約期間	契約日より5年間。ただし、期間満了6ヶ月前に特段の申し立てがない場合は更新とする。
ロイヤリティ等	ファミリーチェーン加盟金 店舗設備及び美容器具の使用料 施術売上総額に一定料率を乗じたロイヤリティ収入 株式会社アッシュ一括支払による広告宣伝費及び衛生用レンタルタオル使用料に一定料率を加えたもの

また、F C店の店長にも独立の機会を提供するために、孫F C制度があります。当該店舗はすでにF C店ですが、新たに独立する加盟者（孫F C）と、株式会社アッシュとの二者間で上述と同一内容のフランチャイズ契約を締結しなおすものです。

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結又は解約したフランチャイズ契約は次のとおりであります。

締結した件数	1件（注）
解約した件数	2件（注）

（注）店舗毎の契約となっております。

2) 株式会社ニューヨーク・ニューヨーク及び加盟者との二者間フランチャイズ契約

（Hair & Make N Y N Y フランチャイズチェーン契約）

契約内容	経営指導、材料及び商品販売、事務管理、広告宣伝、経理処理及び給与支払事務、衛生用レンタルタオルの使用、店舗設備及び美容器具の貸与
契約期間	契約日より5年間。ただし、期間満了6ヶ月前に特段の申し立てがない場合は更新とする。
ロイヤリティ等	ファミリーチェーン加盟金 店舗設備及び美容器具の使用料 施術売上総額に一定料率を乗じたロイヤリティ収入 株式会社ニューヨーク・ニューヨーク一括仕入による材料及び商品の販売 株式会社ニューヨーク・ニューヨーク一括支払による広告宣伝費及び衛生用レンタルタオル使用料に一定料率を加えたもの 株式会社ニューヨーク・ニューヨークが実施する教育研修への対価

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結又は解約したフランチャイズ契約はありません。

業務委託契約

直営店舗とＦＣ店舗の中間に位置する店舗運営形態として、当該店舗の店長であった者を受託者として店舗の運営を委託する業務委託店を設置しております。

その契約の概要は次のとおりであります。

株式会社ニューヨーク・ニューヨーク及び加盟者との二者間業務委託契約

契約内容	美容室の店舗運営を委託し、業務委託報酬を支払う。
契約期間	契約日より１～５年間。
業務委託報酬等	受託者に対して、店舗売上高から売上原価及びＦＣ店のロイヤリティ等に相当する金員を控除する等して算出した金額を業務委託報酬として支払う。

当第２四半期連結会計期間において、新たに締結又は解約した業務委託契約はありません。

(２) 外部加盟方式によるチェーン展開に係る契約**フランチャイズ契約（外部加盟方式）**

当社グループのうち、株式会社スタイルデザイナーは、外部加盟方式によるメンバーシップサロンをチェーン展開し、チェーン加盟者の繁栄及び顧客への良質なサービスの提供と、店舗開発または美容師の独立開業支援を基本方針として、フランチャイズ契約を締結しております。

その契約の概要は次のとおりであります。

株式会社スタイルデザイナー及び加盟者との二者間フランチャイズ契約

契約内容	経営指導、店舗設備の転貸、ブランド（商標・サービスマーク）の使用
契約期間	開店時より５～７年間。ただし、期間満了６ヶ月前に延長・更新を協議し決定する。
ロイヤリティ等	フランチャイズ加盟金 店舗設備使用料 店舗運営オペレーションサポート料 ブランド使用料 システム使用料 店舗売上総額に一定料率を乗じたロイヤリティ収入 株式会社スタイルデザイナー一括仕入による材料及び商品の販売 株式会社スタイルデザイナーが実施する教育研修への対価 支払代行事務手数料 等

当第２四半期連結会計期間において、新たに締結又は解約したフランチャイズ契約は次のとおりであります。

締結した件数	２件（注）
解約した件数	２件（注）

（注）店舗毎の契約となっております。

業務委託契約（外部加盟方式）

フランチャイズ契約前の加盟予定者に準備研修期間として店舗の運営を委託する業務委託店を設置しております。その契約の概要は次のとおりであります。

株式会社スタイルデザイナー及びフランチャイズ契約予定者との二者間業務委託契約

契約内容	美容室の店舗運営を委託し、業務委託報酬を支払う。
契約期間	契約日より３ヵ月程度。
業務委託報酬等	フランチャイズ加盟予約金（フランチャイズ契約締結後にフランチャイズ加盟金として充当） 内装設備使用料 システム使用料 株式会社スタイルデザイナー一括仕入による材料及び商品の販売

当第２四半期連結会計期間において、新たに締結又は解約した業務委託契約はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。

一方で、世界経済は全体として緩やかに回復しているものの、中国を始めとするアジア新興国等の経済の先行きや欧米の今後の政策の動向及び影響などに留意が必要な状況にあります。

国内の美容業界におきましては、人口減少と少子高齢化の進展、新卒美容師の減少、選別消費の進展、小規模サロンの後継者不足など、厳しい状況にありますが、一方で、男性の美容室利用率の増加や、低料金の専門サロンの定着、アンチエイジング・スカルプ市場の拡大、美容意識の向上に伴う専門ニーズの高まりなどの動きが見られます。マーケットニーズは多様化し、デザイン系サロンとメンテナンス系サロンの業態分化など、様々な動きが出てきており、サロンチェーン間の競争は特に激しさを増してきております。

このような状況のなか、当社グループは、高品質のブランドサロンを中核に、一方で定期的な身だしなみ（メンテナンス）を来店動機とする需要層を囲い込むためにエコノミーな料金で施術サービスを行うサロンを強化するなど、複数のブランド展開を図っております。高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロン、また、メンテナンスのニーズをエコノミー料金で提供するチョコペタブランドまで、グループの経営理念である「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印に、グループの結束力を強化し、経営の効率化や地域一番店を目指すための諸施策を実施しております。

来店施策として、24時間予約が可能なWeb予約システムの活用強化やメールマガジンを活用し、魅力ある情報発信を行い、新規顧客の獲得や再来店顧客の増加を図っております。

単価施策として、縮毛矯正やワンランクアップのつや感を演出するプレミアムカラーの強化、アンチエイジングを目的としたメニューや商品販売強化、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力強化を順次進めております。

また、スタイルデザイナーが直営で運営するチョコペタは、投資効率の高い出店を着実に増加させております。チョコペタは、カットとカラーのシンプルなサービスを基本に、サロン内の作業を自動受付やオートシャンプー等のロボット化により省力化し、パートタイマー美容師を積極的に活用しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社主要子会社の入客数は、株式会社アッシュが前年比103.7%、株式会社ニューヨーク・ニューヨークが同102.3%、株式会社スタイルデザイナーが同106.1%となっております。一方、当社主要子会社の客単価は前年比97.3%となりましたが、これは、平均客単価2,100円のチョコペタの売上高増加が主な要因となります。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、8,315百万円（前年比101.9%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、278店舗（株式会社アッシュ「以下、Ash」117店舗、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」32店舗、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」119店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ10店舗）となります。なお、SDのチョコペタ店舗数は、23店舗（前年同月比9店舗増）となっております。また、グループにおけるFC店舗数は、208店舗（Ash95店舗、NYNY17店舗、SD96店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,635百万円（前年同四半期比102.4%）、営業利益は170百万円（同143.7%）、経常利益は157百万円（同110.5%）となりました。

また、店舗閉鎖損失や減損損失等を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円（同157.9%）となりました。

なお、当社グループの連結子会社店舗数278店舗のほか、株式会社シーエフジェイの国内店舗数6店舗、海外店舗数2店舗（シンガポール共和国・中華人民共和国各1店舗）となっております。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、419百万円減少して2,675百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の減少263百万円、売掛金の減少36百万円、立替金（四半期連結貸借対照表上は、流動資産「その他」で表示）の減少115百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、525百万円増加して4,823百万円となりました。

これは主として、新規出店及び会計上の見積りの変更に伴う資産除去債務等による建物（純額）の増加624百万円、店舗移転等に伴う敷金及び保証金の減少74百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、105百万円増加して7,499百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、529百万円減少して2,195百万円となりました。

これは主として、買掛金の減少31百万円、未払金の減少353百万円、未払法人税等の減少57百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、636百万円増加して2,924百万円となりました。

これは主として、長期借入金の増加172百万円、会計上の見積りの変更に伴う資産除去債務の増加454百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて106百万円増加し5,120百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、1百万円減少して2,379百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上48百万円はありましたが、配当金50百万円を実施したことにより、利益剰余金が1百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.2%から31.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比べ263百万円減少し、1,395百万円となりましたが、主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は50百万円（前年同四半期は300百万円の収入）となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益88百万円、減価償却費218百万円、立替金の減少額115百万円、未払金の減少額353百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は398百万円（前年同四半期は344百万円の支出）となりました。

これは主として、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出423百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は84百万円（前年同四半期は57百万円の収入）となりました。

これは主として、長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出362百万円、配当金の支払額49百万円によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数（株）
普通株式	22,576,000
計	22,576,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数（株） （平成29年6月30日）	提出日現在発行数（株） （平成29年8月14日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,330,000	5,330,000	東京証券取引所 J A S D A Q 市場 （スタンダード）	単元株式数は100株であります。
計	5,330,000	5,330,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数（株）	発行済株式総 数残高（株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増 減額（千円）	資本準備金 残高（千円）
平成29年4月1日～ 平成29年6月30日	-	5,330,000	-	324,360	-	860,292

(6) 【大株主の状況】

平成29年 6 月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
吉原 直樹	横浜市青葉区	2,100,000	39.39
吉原 清香	横浜市青葉区	696,000	13.05
吉村 栄義	京都市伏見区	351,000	6.58
株式会社アルテ サロン ホールディングス	横浜市中区翁町一丁目4番1号	324,843	6.09
龍 岳男	東京都世田谷区	120,000	2.25
柴 光徳	千葉県旭市	88,700	1.66
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	63,400	1.18
吉村 眞弓	京都市伏見区	58,000	1.08
米山 実	東京都大田区	40,000	0.75
西江 陽一	横浜市磯子区	38,000	0.71
計	-	3,879,943	72.79

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年 6 月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 324,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,004,600	50,046	-
単元未満株式	普通株式 600	-	-
発行済株式総数	5,330,000	-	-
総株主の議決権	-	50,046	-

(注) 単元未満株式には自己株式43株が含まれております。

【自己株式等】

平成29年 6 月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社アルテ サロン ホール ディングス	横浜市中区翁町 一丁目4番1号	324,800	-	324,800	6.09
計	-	324,800	-	324,800	6.09

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,658,748	1,395,399
売掛金	491,693	454,755
商品	71,871	69,905
貯蔵品	25,493	33,140
その他	849,776	723,847
貸倒引当金	1,974	1,201
流動資産合計	3,095,609	2,675,847
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,209,204	5,599,097
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,487,612	3,252,622
建物(純額)	1,721,591	2,346,474
車両運搬具	12,989	15,062
減価償却累計額	10,213	8,107
車両運搬具(純額)	2,776	6,955
工具、器具及び備品	1,018,801	1,047,295
減価償却累計額及び減損損失累計額	854,302	846,124
工具、器具及び備品(純額)	164,499	201,170
土地	134,200	134,200
リース資産	22,059	22,059
減価償却累計額	11,035	13,205
リース資産(純額)	11,024	8,853
建設仮勘定	12,899	4,290
有形固定資産合計	2,046,991	2,701,945
無形固定資産		
のれん	274,422	225,053
その他	144,978	130,850
無形固定資産合計	419,401	355,903
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,411,337	1,336,492
その他	431,528	450,714
貸倒引当金	10,890	21,660
投資その他の資産合計	1,831,975	1,765,546
固定資産合計	4,298,367	4,823,395
資産合計	7,393,976	7,499,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,462	68,047
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	613,388	577,909
未払金	1,532,453	1,178,631
未払法人税等	80,998	23,574
賞与引当金	1,999	7,891
資産除去債務	3,101	23,283
その他	243,693	166,353
流動負債合計	2,725,097	2,195,690
固定負債		
長期借入金	1,921,461	2,094,313
退職給付に係る負債	89,695	90,353
資産除去債務	49,128	503,215
その他	227,991	236,443
固定負債合計	2,288,277	2,924,324
負債合計	5,013,374	5,120,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,360	324,360
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,335,446	1,334,031
自己株式	139,825	139,825
株主資本合計	2,380,272	2,378,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	369
その他の包括利益累計額合計	329	369
純資産合計	2,380,601	2,379,227
負債純資産合計	7,393,976	7,499,242

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
売上高	3,551,285	3,635,945
売上原価	2,531,076	2,595,902
売上総利益	1,020,208	1,040,042
販売費及び一般管理費	901,825	869,917
営業利益	118,383	170,125
営業外収益		
受取利息	2,724	1,449
受取手数料	4,621	4,765
受取補償金	20,850	-
その他	18,616	12,801
営業外収益合計	46,812	19,016
営業外費用		
支払利息	9,656	7,966
貸倒引当金繰入額	1,418	12,339
その他	11,365	11,115
営業外費用合計	22,439	31,421
経常利益	142,755	157,720
特別利益		
固定資産売却益	210	199
受取補償金	67,257	-
資産除去債務戻入益	1,734	-
特別利益合計	69,201	199
特別損失		
固定資産売却損	-	991
固定資産除却損	3,088	9,919
店舗閉鎖損失	72,308	10,621
減損損失	54,361	29,642
資産除去債務履行差額	-	18,245
その他	5,000	-
特別損失合計	134,758	69,420
税金等調整前四半期純利益	77,197	88,499
法人税、住民税及び事業税	82,439	24,839
法人税等調整額	36,041	15,023
法人税等合計	46,398	39,862
四半期純利益	30,799	48,636
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,799	48,636

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	30,799	48,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	40
その他の包括利益合計	187	40
四半期包括利益	30,611	48,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,611	48,677

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	77,197	88,499
減価償却費	244,204	218,365
減損損失	54,361	29,642
のれん償却額	62,657	32,136
その他の償却額	1,873	3,074
退職給付に係る負債の増減額 (は減少)	10,117	657
貸倒引当金の増減額 (は減少)	4,837	9,996
賞与引当金の増減額 (は減少)	-	5,891
受取利息及び受取配当金	2,741	1,469
支払利息	9,656	7,966
為替差損益 (は益)	612	160
有形固定資産売却損益 (は益)	210	791
受取補償金	88,107	-
受取保険金	663	516
有形固定資産除却損	3,088	9,919
店舗閉鎖損失	72,308	10,021
資産除去債務戻入益	1,734	-
F C 契約解約損益 (は益)	5,000	-
売上債権の増減額 (は増加)	134,418	36,937
たな卸資産の増減額 (は増加)	327	5,680
立替金の増減額 (は増加)	106,720	115,289
その他の資産の増減額 (は増加)	34,026	31,246
仕入債務の増減額 (は減少)	43,828	31,415
未払金の増減額 (は減少)	289,304	353,822
未払消費税等の増減額 (は減少)	19,756	35,193
その他の負債の増減額 (は減少)	15,191	33,417
小計	398,729	139,083
利息及び配当金の受取額	3,648	1,771
利息の支払額	9,096	8,215
保険金の受取額	663	516
法人税等の支払額	92,992	82,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,951	50,891

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	149,503	423,021
有形固定資産の売却による収入	598	1,969
無形固定資産の取得による支出	44,407	13,879
資産除去債務の履行による支出	-	3,456
投資有価証券の取得による支出	73	75
非連結子会社株式の取得による支出	-	10,000
のれんの取得による支出	69,000	-
貸付けによる支出	131,304	10,053
貸付金の回収による収入	46,778	25,396
保険積立金の積立による支出	3,474	3,544
敷金及び保証金の差入による支出	33,425	40,439
敷金及び保証金の回収による収入	72,203	70,743
預り保証金の返還による支出	17,780	9,151
預り保証金の受入による収入	200	18,400
加盟金等の取得による支出	-	1,200
会員権の取得による支出	15,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	344,189	398,312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	388,687	362,627
長期借入れによる収入	500,000	500,000
配当金の支払額	50,348	49,858
割賦債務の返済による支出	1,079	1,079
リース債務の返済による支出	2,378	2,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,506	84,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	42
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	14,242	263,349
現金及び現金同等物の期首残高	1,439,594	1,658,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,453,837	1,395,399

【注記事項】

（会計方針の変更）

当社グループは、従来、有形固定資産（リース資産を除く）のうち、平成28年3月31日以前に取得した建物附属設備、車両運搬具、工具、器具及び備品について、減価償却の方法に定率法を採用していましたが、第1四半期連結累計期間より定額法に変更いたしました。

当社グループでは、近年、美容事業の環境変化に伴い、店舗面積あたりの収益性を高めるために店舗のダウンサイジング化を図り、大型店舗の移転等のスクラップ&ビルドを実施して投資回収の早期化を図っております。

その結果、前連結会計年度末において大型店舗の移転はほぼ一巡し、長期的な店舗収益計画及び安定的な設備投資計画を策定することが出来る体制が整備されております。

こうした状況において当社グループにおける店舗設備投資効果及び店舗収益の発生状況を見直した結果、美容室店舗設備及び器具に対する投資効果や店舗収益は使用期間にわたり安定的に発現する見込みであることが判明しております。

当該変更は、これらの状況を踏まえ店舗設備等の有形固定資産の取得原価を耐用年数にわたって均等に配分する定額法がより合理的であると判断したためであります。

これにより、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が、それぞれ24,007千円増加しております。

（会計上の見積りの変更）

当社グループは、賃貸借契約に基づき使用する美容室店舗等については、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、定期賃貸借契約以外の賃貸借契約のうち、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現時点で移転等も予定されていないものについては、資産除去債務を合理的に見積ることが出来ず、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりませんでした。

第1四半期連結累計期間において、閉店実績等の新たな情報の入手に伴い、賃借資産の使用期間及び原状回復義務の履行時期を合理的に見積ることが可能となったため、見積りの変更による影響額459,140千円を資産除去債務に計上しております。

また、当該見積りの変更により、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ12,879千円減少しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

従来、顧客への前払式支払手段(以下、チケットという)を販売後、使用期限を経過したチケットの未使用相当額を連結損益計算書の営業外収益「期限到来チケット精算収入」に計上していましたが、前連結会計年度より「売上高」に計上する方法へ変更しております。

この変更は、従来までの付随メニューで利用できるチケット販売から主要メニューで利用できるチケット販売へ変更したことから、チケット販売を主要事業の一部として捉え、営業活動として業績把握を行うためのものです。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外収益「期限到来チケット精算収入」に表示しておりました8,435千円を「売上高」に組替えております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

次の非連結子会社・取引先について、金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成28年12月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)	
F C 加盟社 7 件	37,278千円	F C 加盟社 7 件	28,719千円
Arte Straits Holdings Pte.Ltd. (非連結子会社)	47,770	Arte Straits Holdings Pte.Ltd. (非連結子会社)	43,050
計	85,048	計	71,769

次の取引先について、支払家賃に対し債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成28年12月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)	
株式会社F・Y・S	(月額) 870千円	株式会社F・Y・S	(月額) 870千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
役員報酬	142,979千円	147,541千円
給与	280,203	271,921
賞与引当金繰入額	285	5,891
退職給付費用	10,117	3,678

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
現金及び預金勘定	1,453,837千円	1,395,399千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	1,453,837	1,395,399

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年 3 月23日 定時株主総会	普通株式	50,251	10	平成27年12月31日	平成28年 3 月24日	利益剰余金

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年 3 月23日 定時株主総会	普通株式	50,051	10	平成28年12月31日	平成29年 3 月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

当社グループは、美容室のチェーン展開を行う事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引については、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6円13銭	9円72銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	30,799	48,636
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	30,799	48,636
普通株式の期中平均株式数(株)	5,025,157	5,005,157

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8月10日

株式会社アルテ サロン ホールディングス

取締役会 御中

清陽監査法人

指定社員 公認会計士 野中 信男 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 中村 匡利 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アルテサロンホールディングスの平成29年1月1日から平成29年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アルテサロンホールディングス及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

会計方針の変更に記載されているとおり、会社は、第1四半期連結累計期間より、従来、定率法により減価償却を行っていた有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。